

島根半島海岸部の地形

島根県東部・鳥取県西部地域には、東から西へと幅広く分布する特徴的な地形があります。それは南部にある中国山地、宍道湖や中海のような低地帯、隆起して形成された島根半島を含む地形のことです。その中でも島根県は、島根半島全域が断層を伴った複背斜構造を成し、半島の東部はリアス式海岸に、西部は隆起海岸にわかれています。海岸では、広範囲に渡って、岬と湾が鋸歯状に交互に並んでいます。加賀の潜戸・多古の七つ穴に代表される断崖、海食洞等を見ることができます。

このエリア一帯は、島根半島・宍道湖中海ジオパークのエリアの一部となっています。